



受験の夏

高3の夏

RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND

2015 年度 H3 第一学期進路ガイダンス資料



H3	クラス	氏名
----	-----	----

夏休みの宿題

- ◇ 保護者の方と進路についてよく話し合う
- ◇ 受験する者は、大学センター試験受験案内（要項）を入手すること
（詳細は7ページを参照）
- ◇ 志望大の大学案内・入試要項を入手し、入学試験の形態を確認する
- ◆夏休み明けに提出するもの
 - ① 夏休み明け 進路希望用紙
 - ② 志望理由書
 - ③ 夏休み 勉強計画表
 - ④ 夏休み 勉強の記録ブック

【1】大学入試のスケジュール

2016 年度 各大学の入試 募集要項の発表・配布開始

7 月

A0 入試・公募推薦など

夏休みのうちに、

大学案内・募集要項などを集め、大体の志望を固めておくこと。
志望大の赤本も用意すること。

8 月

9 月

一般入試

センター試験募集要項配布（9 月 1 日から）

10 月

指定校推薦

校内公示は
9 月下旬から 10 月ごろ
（大学からの連絡状況による）

（9 月 19 日～10 月 9 日）

学校で一括して出願

11 月

校内で志願者受け付け

校内審議

審議結果を志願者に連絡
（大学の出願に合わせて連絡）

12 月

出願 受験 結果通知

1 月

1 月 16 日（土）17 日（日）大学センター試験

国公立大・私立大の出願

2 月

私大
受験

私大結果発表

3 月

2 月 25 日～ 国公立大前期試験

3 月 6 日～ 前期試験結果発表

3 月 12 日～ 国公立大後期試験

3 月 20 日～ 後期試験結果発表

4 月

2016年度入試 スケジュール

2015.6月現在

	国公立大学		私立大学 短期大学
	分離・分割方式	中期日程(公立大学のみ)	
2015年 7月	31日まで	選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表	AO入試
9月	1日～	大学入試センター試験 受験案内配付	
	9月1日～10月9日	大学入試センター試験 検定料等払込	
10月	9月29日～10月9日	大学入試センター試験 出願	
11月			推薦入試
12月	～15日	募集要項発表	
2016年 1月	16・17日	大学入試センター試験(本試験)	出願
	16・17日	大学入試センター試験 正解等の発表	
	20日予定	大学入試センター試験 平均点等の中間発表	
	～22日	推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表	
	22日予定	大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表	
	23・24日	大学入試センター試験(追試験・再試験)	
	25日～2月3日	2次(個別)試験 出願	
2月	4日予定	大学入試センター試験 平均点等の最終発表	一般入試(2月)
	～10日	推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表	
	～10日	第1段階選抜の結果発表(前期)	
	～17日	推薦入試・AO入試合格者の入学手続	
	25日～	前期日程試験	
3月	1日～10日 (国立は6日～)	合格発表	合格発表・入学手続 一般入試(3月)
	～15日	入学手続	
	12日～	後期日程試験	
	20日～24日	合格発表	
	～27日	入学手続	
	28日～	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験	
	～31日	入学手続(第2次締切)	
4月	16日～	大学入試センター試験 成績の本人開示	

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

【2】志望大を絞り込む

どんな場合も、最終的には一般入試での受験に備えて準備する必要があります。どの受験においても学力がものを言います。学力をつける勉強を怠りなきように。

◆ 受験のケースに合わせた、準備の概要 ◆

受験のケース	準備が必要なこと
国立大学を受験する	◆大学センター入試の受験準備 ◆国立大学の受験準備 ◆滑り止めとして、私立大学の受験準備
私立大学を受験する	◆私立大学の受験準備 ◆私立大のセンター利用入試を受験する場合は、大学センター入試の受験準備
A〇入試／公募推薦／自己推薦などを受験する	◆A〇入試／公募推薦などの受験準備 ◇不合格の場合には、一般入試での受験になるので、あらかじめ〔国立大学を受験する〕〔私立大学を受験する〕の準備をしておく （出願については、後の注意事項を読んでおくこと）
指定校推薦を受験する	◆指定校推薦の受験準備 ◇校内選考を通過しない場合、また推薦入試に不合格の場合は、一般入試での受験になるので、あらかじめ〔国立大学を受験する〕〔私立大学を受験する〕の準備をしておく （出願については、後の注意事項を読んでおくこと）

◆ どの大学にも共通すること ◆

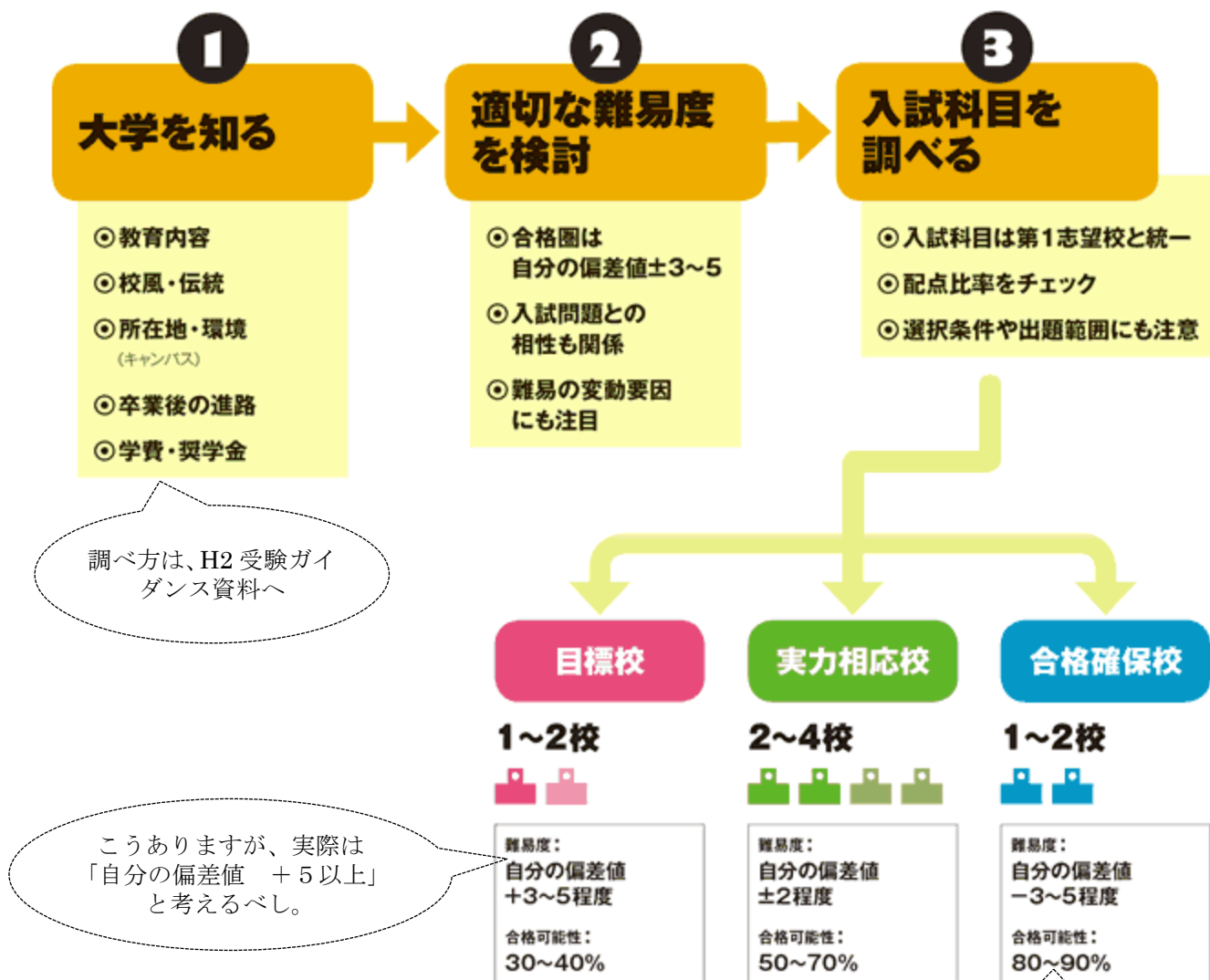
一般には、

『①目標（挑戦圏）の大学』 ←多くの受験生の場合、これが第一志望大になる

『②実力と均衡の大学』

『③よほどのことがない限り、合格確実の大学（滑り止め）』

の3つに区分して、受験する大学を決定する。



〈参考〉パスナビ『Which どの大学を受ける?...大学情報+難易度・入試科目を調べる』

<https://passnavi.evidus.com/heigan201311/07/html/1>

◆ 国立大学を受験する ◆

一般に、前期日程 1 校、後期日程 1 校、の合計 2 校まで。

(a) 前期日程が第一志望校、後期日程が第二志望校で受験する

(後期日程を受験すると、前期日程の大学の合格は無効となる)

(b) 後期日程はレベルが上がるので、どうしても国立大に進学したい場合には、後期試験はレベルを下げて志望大学を設定する必要がある。また前期日程がいわゆる学力試験であるのに対し、後期日程は小論文、一科目のみの学力試験、結果判定中のセンター試験結果の割合が高い、などと試験の課し方が特徴的なので、これも考慮して決定する必要がある。

◆ 私立大学を受験する ◆

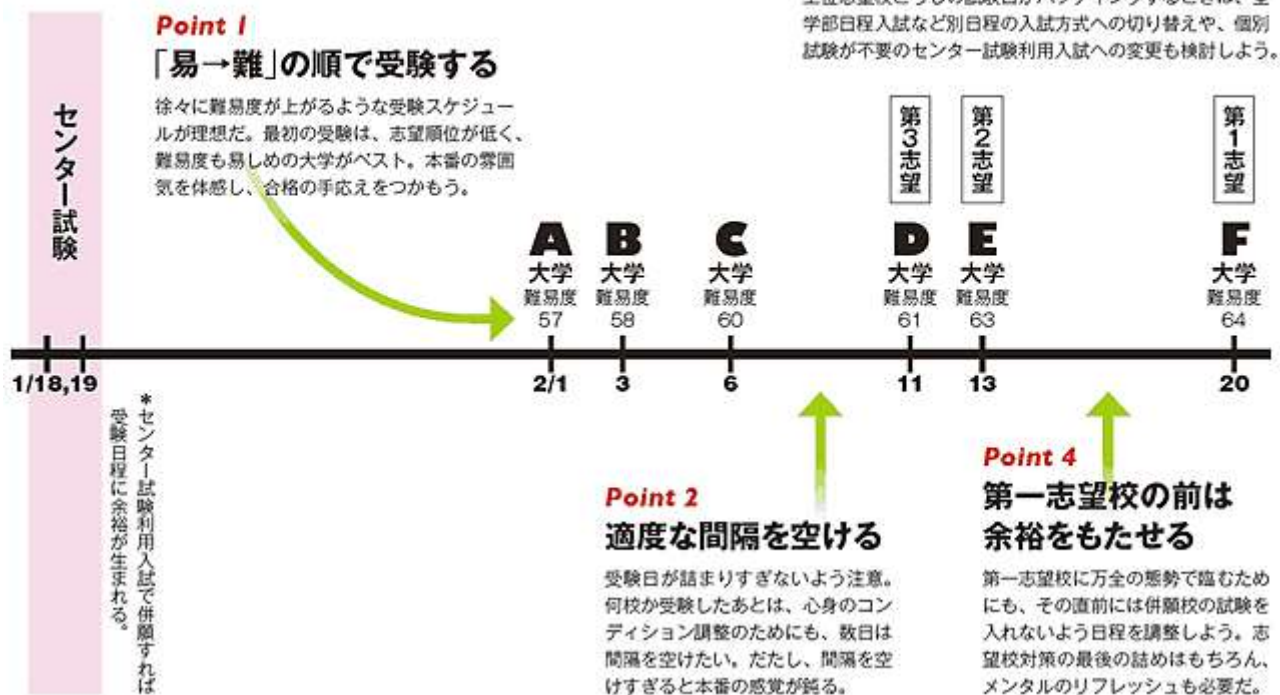
- (a) 平均的に、受験生は私立大だけで5～7校ぐらい受けるようだ。しかし、志望によって個人差がある。
- (b) 日程が重ならない限りは、いくらでも受験できる。但し、1つの大学の入試を複数回受けられないこともあるので、募集要項をよく読むこと。
- (c) 2月の初旬から中旬までの約2週間のあいだに、私立大の入試は集中する。10校や15校などと沢山受けると、体力的にも精神的にも持たず、惨々たる結果になる。そこで…
- 実際に試験会場へ試験を受けに行くのは、①②の大学のみを中心とする。
 - 『③よほどのことがない限り、合格確実の大学（滑り止め）』の大学は、2校程度を実際に試験を受ける形で受験し、もっと受験する時には「センター利用入試」を活用する。
(センター利用入試での募集人員は少なく、合格ラインが高いので、①や②のタイプの大学はまず合格するのが難しい)
 - 一般に、試験日が2日連続となって大学を受けるのは大丈夫。3日連続、4日連続で受けるのは非常に辛い。よっぽど志望大が含まれており、どうしても受けたい場合には、あらかじめ体力調整を十分にした上で受験する。
 - 第一志望大の受験の前に、入試の緊張に慣れるため、1校練習で受けておくとう安心。ただ入試は受験料がかかるので、ご家族とよく話し合うこと。

〈参考〉パスナビ

When & How many いつ、何校受ける? … 受験校数を決め、スケジュールを立てる

<https://passnavi.evidus.com/heigan201311/09/html/1>

スケジュールのポイント



◆ 受験校数過多に注意! 数の目安は5～6校

併願校がある程度絞り込めたら、受験校数や日程を調整しながら、具体的な受験スケジュールを立てていこう。受験生が陥りがちなのが、併願校が多すぎるパターン。本番の試験は、心身ともに想像以上のエネルギー

ギーを消費する。加えて、受験自体やその準備に時間もお金もかかる。併願校を適度な数に抑えておかなければ、第一志望校の受験にも影響が出てしまうのだ。

受験校数の目安は、第一志望校も含めて5~6校くらい。6校の場合は、「目標校1、実力相応校3、合格確保校2」が基本パターンだ。例えば、「労力を抑えつつ受験回数を増やしたければ、私立大のセンター試験利用入試を追加する」、また「第一志望校の対策に集中したい、コストを抑えたいという人は、数を絞り込む」など、自分の希望に合わせてカスタマイズしよう。

目標校や合格確保校に偏りすぎないように、併願校の難易のバランスを調整することも重要だ。とくに、自分の実力よりも高めの大学に挑戦する人は、合格確保校や実力相応校などの組み込み方を慎重に検討しよう。もちろん、合格確保校であっても、絶対に合格できるとは限らない。受験に油断は大敵だ。

★第一志望校の試験日を中心にスケジュールリング

受験日程については、第一志望校の試験日を中心に考えていくのが鉄則だ。試験の雰囲気になれるために、少なくとも1校は、第一志望校よりも前に試験日が来るよう併願校を選んでいく。緊張しやすい最初の試験は、志望順位が低く、難易度があまり高くない大学にし、それから徐々に受験校の難易度を上げていき、自信をもって第一志望校に臨む、というのが理想だ。

受験の頻度にも気をつけたい。何日も試験が続くような過密な日程は避け、頭を切り替え、体を休める時間も考慮したスケジュールにすること。試験会場までの移動も計算に入れておこう。長距離移動は、時間、お金、心身と、すべてにおいて負担になる。なるべく移動の回数は減らし、学外試験会場の活用も検討したい。

なお、関西圏では2月上旬、首都圏では2月中旬に多くの私立大の試験日が集中する。各大学の試験日については、「蛍雪時代」付録「2014年 私立大学入試日程カレンダー早見表」で確認できる。同じ大学・学部でも、入試方式によって試験日が異なる場合がある。学内併願が可能かどうかも含めて、よく研究したうえでプランを立ててほしい。



【合格すれば必ず進学しなければならない特別入試】

「出願資格にちょうどあてはまり、合格の可能性がややある。

合格したら喜んで進学しよう」という場合に受けるもの。

【合格しても、他大を受験することができる特別入試】

1～3月の一般入試より前に、「合格のチャンスを増やそう」という目的で受験するものである。

しかし、これを受験することで一般入試の勉強に妨げがあると本末転倒になってしまう。

(a) AO入試、一部の公募推薦には「合格すれば必ず進学を要求する入試」と「合格しても、他大の受験が可能な入試」がある。募集要項に記されているので、よく読むこと。

(b) 「合格すれば必ず進学を要求する入試」の場合

- 指定校推薦と一部の公募推薦は、「合格すれば必ず進学を要求する入試」である。「学校長の推薦書」を要求する入試は、全てこのタイプである。
- 出願時には、この1校だけしか受けられない。
出願書類を提出した後は、他の大学へ出願することは出来ない。また、出願書類提出前に他大学へ出願していたとしても、受験することはできない。
- 合格したときには、必ず進学手続きをすること。合格しているのに辞退をすると、学校長の推薦がある以上、高等学校の信用が失われ、その後の後輩生徒たちに影響が生じることがある。
- もし不合格だった場合には、不合格通知を受け取った後に、他大学の受験手続き(＝出願のこと)ができる。多くの場合、不合格通知のあとの受験チャンスは、一般入試のみとなる。センター試験も終了した後のことがあり、私立大の一般入試からしか出願できないことが多いので、注意と心構えが必要だ。
- 指定校推薦は、その高等学校から大学へ進学した学生の実績に基づいて、大学が高等学校へ良い生徒がいるなら推薦してほしい、という目的で与える入試なので、大学・高校間の信用を失うようなことは一切避けなければならない。また進学後も学生の学業などの様子は大学によって卒業まで調査が行われ、その後の高校への指定校推薦の付与に影響する。

(c) 「合格しても、他大の受験が可能な入試」

- 多くのAO入試と一部の公募推薦は、「合格しても、他大の受験が可能な入試」である。
- 出願時には、複数の大学に出願書類を出すことができる。ただし、1～2校が一般的。この間に、センター試験など他大学に出願することが出来る。
- 合格した時には、家族でよく相談の上、入学手続きをとること。「合格しても、他大の受験が可能な入試」の場合は、入学金を納入することで合格の権利をキープすることができる。
- 合格した時でも、センター試験・一般入試を受験できる。『◆国立大学を受験する◆』『◆私立大学を受験する◆』に合わせて準備を進めること。ただ、いざとなれば入学金を納入した大学があるので、『③よほどのことがない限り、合格確実の大学(滑り止め)』を受ける必要はない。とはいえ、一般入試の雰囲気慣れるために、第一志望大の入試の前に1校は受けておくと安心。
- 不合格だった場合には、『◆国立大学を受験する◆』『◆私立大学を受験する◆』に合わせて準備を進めること。

受験にあたっての一時帰国については、16ページの『受験に際しての注意』を確認すること。

もし進学先がはやく決定することになった場合には、1～3月の大学入学までの期間の過ごし方をよくよく練り、充実したものにするといだろう。ただ漫然と自宅で過ごしたり、アルバイトをするだけでは意味がない(大学に行ってから十分経験可能)。大学によっては宿題も出るが、地道に勉強を積むことが一番大切。この時期に国外に出て英語を磨く生徒があった。3月のTOEIC受験(日本)を目標に、英語をさらに学習する生徒は多い。

◆ 海外帰国生入試 ◆

海外帰国生入試は、大学が提示する出願条件にあてはまれば、出願できます。
募集要項をよく確認して下さい。

- (a) 海外帰国生入試は、大学によって出願条件が異なります。特に、立教英国学院のような「海外にある学校」だけでも、「文部科学省認定の在外教育施設」の場合には、条件にあてはまることもあれば、あてはまらないこともあります。募集要項をよく読んでください。分からない場合には、大学の入試担当へ直接問い合わせ確認しますと、出願要件にあてはまるかどうかの照会を行ってくれる大学がほとんどです。(条件は大学が決めるものですので、高校に問い合わせても確かな返事はできません)。
- (b) 今までの実績からすると、海外帰国生入試の条件に、立教英国学院は多くがあてはまらないことばかりでした。条件にあてはまることがあっても、中堅大学よりも下位の大学であることが多いという特徴がありました。

【事例①】 出願条件にあてはまらないもの

ほとんどの生徒は満たさない。
立教英国学院は、日本の文部科学省の指定するカリキュラムに基づいている。

現地校／インターナショナルスクール
などで規定の年数以上通学した経験があれば、満たす。

1. 共通条件 次のすべての条件を満たすこ

- ① 国の内外を問わず通常の学校教育課程 12 年以上を修め（注 1）、かつ海外において外国の教育課程に基づく高等学校に最終学年を含め 2 年（注 2）以上継続して在籍し卒業した者および卒業見込みの者（ただし、経済学部、法学部および商学部はこれに代わる条件があるので、学部別条件を参照のこと）
- ② 滞在国・地域の学校教育制度に基づく大学入学資格を有する者 **満たす**
- ③ 各国の大学入学に必要な国家試験等の統一試験またはこれに準ずる試験を受験し、試験結果を提出すること ができる（注 3）者（ただし、医学部および理工学部はこれに代わる条件があるので、学部別条件を参照のこと）

④ 過年度に出願していない者

満たす

（注 1） 高等学校卒業までに少なくとも 12 年の教育課程を基本とする国で、成績優秀者等が「飛級」や「繰り上げ卒業」により通算教育年数が 12 年未満で卒業した場合についても出願資格を認めます。国によっては 高等学校卒業時までに 12 年の教育課程を必要としない場合など、出願資格に疑問がある場合は、2015 年 6 月 19 日（金）までに帰国生入試事務局にメールで問い合わせてください。

（注 2） 「最終学年を含め 2 年」とは、日本の高等学校の第 2 学年および第 3 学年に相当する 2 年間を指します。13 年制の教育制度（例：イギリスの教育制度）の場合は、Year11 および Year12、または Year12 および Year13 を指します。

（注 3） 国家試験等の統一試験に関する指示については、16～20 ページを参照のこと。何らかの理由により滞在国・地域の教育制度と異なる統一試験を受験した場合についても出願資格を認めます。いずれの統一試験結果も提出できない場合、帰国生対象入学試験を受験することはできません。一般入学試験や AO 入学試験への出願を検討してください。

※学部は併願できます。ただし、同一学部内の学科や学門の併願はできません。

結論：①ほとんどの生徒は満たさない。

②現地校／インターナショナルスクールへの通学経験があれば、
満たすことがある。

【事例②】 出願条件にあてはまるのかわかりにくい

日本の国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、外国における高等学校相当課程に2学年以上継続して在学した者のうち、次のいずれかに該当する者で、出願条件を満たしている者。

満たす

「外国における高等学校相当課程」に立教英国学院があてはまるのか、この表現からは分からない。大学によっては認めることがあり、また認められないことがある。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）後2年未満の者、または平成28年3月までに卒業（修了）見込みの者

もし上記条件が適合するなら、これを満たす。

- (2) 帰国後日本の高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）に編入学をし、その在籍期間が2年未満で平成28年3月までに卒業見込みの者

- (3) 帰国後2年未満の者で、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格または平成28年3月31日までに合格見込みの者

- (4) 国際バカロレア資格を取得した者

- (5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者

- (6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

- (7) 上記(1)と同等以上の学力を有するかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者

- (8) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者

結論：大学の入試担当に問い合わせ、確認をとる必要がある

〈夏休みの宿題〉

①志望大を絞り込み、『進路希望調査用紙』に記入。2学期帰寮時に提出すること。

注意事項

- 必ず、ご家族とよく話し合うこと。自分の志望をきちんと伝え、保護者の方の希望をよく聞いておくこと。
- ご家族と意見が異なる場合には、用紙の備考欄に保護者の方の意見や志望を書いて貰うこと。
- 上記に関係なく、保護者の方から何か要望があれば、書いて貰うこと。「浪人は許可できない」「自宅近くの大学を希望」などなど。

②第一志望大学の『志望理由書』を書きあげる。2学期帰寮時に提出すること。

- 一般入試型の場合は、志望大合格に向けて強い意思を持つために。
- AO入試なども含めて受験を考えている場合には、目標の確認と受験準備のために。

■推薦入試制度

(1) AO 入試

AO とは Admission(s) Office のことであり、独自の入学希望者選考を行うというものです。日本では慶應義塾大学が最初に AO 入試を行ったことで有名です。

書類審査と面接による選考が主ですが、大学によりその選考方法は大きく異なります。自分で自分自身を推薦し出願するものがほとんどであり、ということは学校長の推薦がないという事が言えます。

●AO入試は「個性」「意欲」「姿勢」「適性」を重視！

公募推薦入試が学力や活動面を重視するのに対し、AO 入試は大学への「個性」「意欲」「姿勢」「適性」が大きなポイントとなります。ですので、選考方法は書類審査と面接を通し、生徒個人を多角的に審査していきます。その他にも大学によっては、大学の模範講義を受け、その後その講義に関するレポートを作成させたり、グループディスカッションで討議能力を審査したりなど、様々な方法で選考を行っています。まさに「大学生としての適性」が試される試験といえるのです。

出願に際しては、成績面での基準がない大学が多いのも特徴です。あくまでも学力試験では測れない生徒の個性や適性を重視するということです。言い換えれば、だれでも出願が出来るということになりますが、勿論、簡単に合格はできません。公募推薦に比較し倍率が高くなることも多く、だからこそしっかりと対策が必要になるということが言えます。

原研大 SFC や法学部、早稲田大の国際教養学部や政治経済学部など多くの私立大、横浜市立大学などの国公立大で実施しています。

1. 人間力＝面接や志望理由書、小論文試験などであなたの人間力が判断されます。
2. 資格＝英語力(TOEFL TEST や英検など)が高いほど有利になるケースが多々あります。
3. 学校の成績＝学校の成績は合否判定に算入しない大学もありますが、判断材料のうちのひとつです。

※AO 自己推薦は、ほぼ例外なく他大学との併願が可能です。

(2) 公募推薦入試型

指定校と性格は良く似ていて、「学校長の推薦を得る」ことが基本的な出願条件となります。もちろん、全ての大学ではありませんが、大半の大学はこの条件の下、生徒募集を行います。

多くは出願に必要となる数種類の書類を作成し提出、その後小論文試験や面接などを経て合否が決まるというのが一般的です。国公立大ではセンター試験を課す大学とそうでない大学とに分かれます。これにより出願日が大きく異なってくるので注意が必要です。

指定校と違い、出願することほぼ合格するということはなく、倍率も大学によって様々となります。比較的に出願しやすい条件の大学が多いですが、ライバルもいるわけですから、万が一不合格だった場合の事を考えて、一般入試の対策もおろそかにできません。ここが公募推薦を受験するにあたってのポイントとなります。

主に学業成績である評定平均が出願条件となる大学が多く、この条件をクリアしていないと出願自体できません。しかし、全ての大学が基準を高くしているわけではなく、3.0 程度で出願できるところから、高いところまで 4.5 など、評定平均の幅は

様々です。その他、スポーツやクラブ活動、文化活動、課外活動や保有資格などの実績を評価し選考する「コミュニケーション推薦」というものもあります。高校生全員が保有できるものではないことから、倍率も高くないことが多くあります。また学校長ではなく、自分自身が自分を評価し推薦する「自己推薦」なるものもあります。

冒頭で述べたとおり、基本的には「学校長の推薦を得る」ことが条件となります。ということは指定校推薦と同じでその高校の代表者であり、結果、専断のみの募集というものが大半です。指定校推薦と同じく入学辞退はタブーとされる、ということなのです。

公募推薦は、上智大学、日本大学、獨協大学、明治大学など多くの有名私立大学のほかに、千葉大学など国立大学でも実施されています。

1. 学校の成績＝評定平均 4.0 以上などが受験資格となっています。
 2. 人間力＝面接や志望理由書、小論文などであなたの人間力が判断されます。
 3. 資格＝多くの場合、TOEFL iBT TEST で 61 点以上または英検 2 級など英語資格が最低条件となっています。
- ※多くの大学が上記①③を絶対条件にしています。上智大国際教養学部は TOEFL TEST で 79(iBT 7)点、評定平均 4.0 以上などの絶対条件を設けています。

(3) 指定校推薦入試

大学側より指定した高校から生徒を選考する推薦入試です。主に選考方法は、高校在籍時の評定平均により選考されます。しかしながら、各大学学部からは 1、2 名の募集ということが大半であり、その少ない席を巡って同高校内で争うこととなります。選考されればほぼ合格となることが多い推薦ですので、熾烈な争いになるのは目に見えており、普段からしっかりと学内テストで結果を出している生徒が有利になることは間違いありません。

勿論、その高校を代表してその大学に進学するようなものですから、入学辞退はタブーとされています。なぜならば、高校と大学とのパイプに影響を与えてしまうからです。ですので、出願がかなう大学に関してはよく調査して、自分に合っているかを見極めることも非常に重要なことといえます。

※学校の成績＝学校の評定平均や出席日数などで決まります。

★推薦入試と AO 入試の違い

AO 入試は原則として高校の推薦書が不要です。推薦入試と AO 入試の最大の違いは、AO 入試では原則として高校の推薦書が必要ないことです。だから大学が提示した応募条件を満たしていれば誰でも応募することができます。また推薦入試では評定平均値が一定以上など、学業成績の基準が設けられていることがほとんどですが、AO 入試ではその基準があるのは少数派です。そのぶん AO 入試では、どうしてもその大学に入学して真剣に学びたいという意欲が重視されます。当然、志望大学の中身を良く知る必要があることになる訳です。大学のパンフレットやシラバスなどを入手して熟読しておきましょう。



A0・公募推薦入試とは？



【3】センター試験の出願準備

夏休みに必ずすること

①センター試験の受験案内（要項）をもらいに行く。

各自最寄の大学に直接出向き、受験案内を入手する。記入を誤ったときに備え、2部入手しましょう。
 （中に、受験料の振込用紙と志願票がはいています。）

②検定料を納付する。納付期間は9月1日（火）～10月9日（金）

検定料を納付する時に決めること

1. 受験科目数
 （2科目以下受験 もしくは 3科目以上受験）
2. 成績開示の希望の有無
 ※成績の開示は来年度4月になってからです。

受験料（受験科目・開示希望有無）

	2科目以下	3科目以上
開示なし	12000 円	18000 円
開示	12800 円	18800 円

返却される部分

払込書

これを使って、郵便局か銀行で検定料を支払う。

その場で必ず「受付局日付印」が押されていることを確認すること。

DとEの部分が返却されるので、Eの部分を来学期学校にもってくること（Dは各自の控えです）。Eは志願書に貼り付けます。

受験料納付は日本からしか出来ません。帰国予定のない人は、必ず上の①、②を誰かにお願いしてやってもらってください。ただし、志願者の欄には受験者本人の氏名を記入してもらうこと。

〈夏休み後、学校へ忘れずに持って来なければならないもの〉

①検定料受付証明書E

②受験案内の冊子2部 （志願票は未記入のまま持ってくること）

③確認ハガキの送付先の住所・電話番号（これが受験地となります）

【４】海外帰国生入試、自己推薦などの受験

これらの試験は、夏休み中から出願が始まったり、早いところは試験が行われます。

① 帰宅後すぐに募集要項を手に入れること。

→ ・出願期日、試験日程を確認

・出願資格を確認（在外教育施設は可か、保護者の海外駐在歴の規定、評定平均、英検等の資格）

・校長推薦、担任推薦等は必要か、を確認

・専願のみか、併願も可か、を確認

② 学校に連絡する

・受験について連絡する。

・必要書類の用意があれば、依頼する。

●過去数年間の帰国生試験・自己推薦結果一覧

大学学部学科	種別	試験	結果
筑波大学 社会国際学群国際総合学類	一般公募 <校長推薦>	小論文、面接	不合格
筑波大学 生命環境学群生物学類	一般公募 <校長推薦>	小論文、面接	不合格
筑波大学 芸術専門学群	一般公募 <校長推薦>	小論文、面接、実技	合格
大阪府立大学 理学部生物科学科	一般公募 <校長推薦>	センター試験結果	合格
岩手医科大学 薬学部	一般公募 <校長推薦>	筆記試験、面接	合格
北里大学 獣医学科動物資源学科	一般公募 <校長推薦>	作文、面接	合格／不合格
和歌山大学 観光学部	一般公募 <校長推薦>	面接	不合格
駒澤大学 経営学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	合格
京都外国語大学	一般公募	筆記試験、面接	合格
金城大学 人間科学部	一般公募	筆記試験、マーク式	合格
慶應義塾大学 法学部	AO 入試	書類審査、論述等	合格
慶応義塾大学	一般公募	書類審査(一次)	不合格
国際医療福祉大学 理学療法学科	一般公募	筆記試験、面接	合格
上智大学 外国語学部	海外就学受験者(帰国生)	小論文、面接	不合格
上智大学	帰国子女枠	筆記試験、面接	不合格
成城大学 文芸学部 経済学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格 不合格
専修大学 経済学部国際経済学科 文学部	帰国子女枠 (保護者海外歴必要なし)	作文、面接	合格 不合格
法政大学 法学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格
中央大学 法学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格
中央大学 商学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	不合格
東洋大学 経済学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	合格
日本大学 文理学部	自己推薦入試	筆記、面接	不合格
日本大学 商学部 法学部	帰国子女枠 (保護者海外歴二年間)	筆記試験、面接	不合格 不合格
東京薬科大学 薬学部	一般公募	筆記試験	合格

南山大学 人文学部 外国学部	外国高等学校卒業生入試 (立教英国学院認定)	筆記試験、面接、作文	合格 合格
早稲田大学	一般公募	書類審査(一次)	不合格
上智大学 総合人間科学部看護学科	帰国生入試	筆記、面接	合格
東洋大学 経済学部	帰国生入試	筆記、面接	合格
駒澤大学 経済学部	帰国生入試	筆記、面接	不合格
日本大学 理工学部	一般公募	筆記、面接	合格
慶應義塾大学 文学部	推薦入試	書類審査、論述等	不合格
京都女子大学 現代社会学部	一般公募	筆記、面接	不合格
玉川大学 芸術学部	帰国生入試	筆記、面接、実技	合格
東京工芸大学 芸術学部	帰国子女入試	筆記、面接、実技	合格
多摩美術大学 芸術学部	帰国子女入試	筆記、面接、実技	不合格
法政大学 グローバル教養学部	自己推薦特別入試	筆記、面接	不合格
防衛大学校	推薦入試	小論文、面接、身体 検査	不合格
東京外国語大学 言語文化学	一般公募 (校長推薦)	センター試験	不合格
神戸大学 医学部	AO 入試	センター試験	不合格
筑波大学 社会・国際学群 社会学類	推薦入試	小論文、面接	不合格
筑波大学 理工学群 応用理工学類	推薦入試	小論文、面接	合格
東北大学 工学部 建築・社会環境工 学科	AO 入試Ⅱ期	小論文、面接	合格
慶應義塾大学 法学部	AO 入試	小論文、面接	不合格
関西外国語大学 外国語学部 英米 語学科	公募制推薦入試	筆記(英語)	不合格
電気通信大学 情報理工学部 知能 機械工学科	一般推薦入試	筆記、面接	不合格
大手前大学 総合文化学部	推薦入試	学力検査	合格
京都外国語大学 外国語学部 英米 語学科	公募制推薦入試	筆記(英語)	不合格
京都産業大学 経済学部 経済学科	公募制推薦入試	筆記	不合格
大阪経済大学 経済学部	公募制推薦入試	筆記	合格

【５】受験に際しての注意

- 進路の決定には、模擬試験の結果を参考にして下さい。夏休み後の模擬試験で少なくとも C 判定が出ていますと、その後の学習努力によって志望校が圏内に入ってくる可能性が広がります。夏休み中にも予備校に個別に申し込むことで模擬試験は受けられます。８月中～下旬のものは、夏休みの努力が表れますので受験を勧めます。(⇒参考 17～20 ページ)
- AO 入試、一部の公募推薦入試、海外帰国生入試（指定校推薦以外の入試）の併願は可能です。但し、『合格した場合は必ず進学する』ことを条件とした入学試験。つまり『専願』は、他の入試と併願で受けられないことがほとんどです。入試要項をよく読んで下さい。
- AO 入試・公募推薦入試・帰国生入試と、指定校推薦の併願はできません。指定校推薦の前に、AO 入試などの出願をすることは可能ですが、指定校推薦出願したのちに他大学を受験してしまうと、指定校推薦の出願資格を失いますので注意して下さい。
- 指定校推薦の校内審査は、大学の示す要項にしたがって行われます。校内審査の結果は出願時期に併せて、希望者に通達されます。時期が 11 月下旬から 12 月初旬になることも多くあります。この場合に、校内審査を通らなかったのもので AO 入試を受けてみよう、といったことはほぼ出来ませんので、注意して下さい。指定校推薦に希望を出すことは、同時に、結果が思わしくなかったときには一般受験をすることを念頭において準備して下さい。
- AO 入試や公募推薦など 2 学期に入試があるものを考えている場合は、夏休み中に入試要項を取り寄せて準備を整えて下さい。必ず入試要項を 2 学期に持ち帰ってきて下さい。書き損じにそなえて、要項は 2 部用意しておくとう安心です。
- 夏休み中（冬休み・年明けも）に調査書の発行を依頼する場合は、生徒本人が学校へ連絡して下さい。時間に余裕をもって連絡して下さい。2 週間ほど前までが目安です。急を要する場合は国際速達便を使って送りますが 5 日程度はかかると考えて下さい。郵送料は個人負担となります。
連絡の際に伝えることは ☐ 受験する大学・学部・学科
 ☐ 受験する入試の種類（AO 入試、公募推薦、帰国生入試など）
 ☐ いつまでにほしいか
- 入試の種類にかかわらず、発行した調査書を実際に大学に提出しなかった（出願をしなかったので使わなかった）場合は、必ず学校へ返却して下さい。

- 2 学期に受験のために一時帰宅しなければならない場合は、保護者の方から連絡してもらって下さい。
- ① 一時帰国期間が 2 週間程度ならば問題ありません。これを過ぎる場合には、あらかじめ学校へ相談して下さい。
 - ② 一時帰国は、受験日から最長で 1 週間前から帰国できます（時差をならすため）。学校への帰寮は、受験日後すぐとなるよう、手配して下さい。
 - ③ 入学試験に重複しているといったやむを得ない場合を除き、期末考査は原則として受験できるよう予定を立ててください。
 - ④ 特別な事情を除いて、2 学期終業礼拝には出席して下さい。2 学期までの通学期間を全うするようにして下さい。
- 休暇中などに学校へ連絡・相談する必要がある場合には、学校へ直接電話を掛けて下さい。休暇中でも日直の先生が待機していますので、伝言してもらえます。日直の先生が席を外しているときは、掛け直すか、電話に出た英人スタッフに伝言を残して下さい。

連絡先は、+44-(0)1403-822107

- ◆高校 3 年生の通学期間は、高 3 の 2 学期終了時までになります。高 3 の 3 学期は通学の必要はありません。自宅などご家族の定めた場所に滞在し、受験や入学準備に力を尽くして下さい。
- ◆卒業終業礼拝は、2016 年 3 月 5 日（土）です。卒業礼拝出席のための帰寮は、2 月 29 日（月）より受け入れ可能です。

【6】夏休みの河合塾模試受験 のすすめ

夏休みは7月中旬から9月上旬まで。約2ヵ月もあります。

「夏を制する者は、受験をも制する」と一般に言われるほど、大切な受験生の夏。高校学習の基礎固めを全ての科目にわたって、じっくりと取り組み、確実な基礎力をものにしなければなりません。

長い2ヵ月の間、学習指標として各自で予備校の模試をきちんと受けるとよいでしょう。

■なぜ模試を受けるとよいのか？

1. 受験勉強の成果を見ることが出来る

夏休みの前に最後に模試を受けるのは6月3日。そこから約2ヵ月受験勉強に取り組んで模試を受けると、その2ヵ月の勉強の具合（どれだけ力が伸びているか、分かっているか、どこが弱点か etc）を確認しやすくなります。

2. 河合塾模試を受けると、ほぼ同じ基準なので、前の模試と比較して力を把握できる。

学校で受験している河合塾模試を受けると、同じ予備校模試の基準で結果が出ます。高2の3学期、高3の1学期に受験した模試結果からどれくらい力がついているかが比較でき、把握しやすくなります。

3. 全国の受験生の中で、自分がどれくらいの位置にいるのかが分かる

全国の受験生が河合塾模試を受けているわけではありませんが、河合塾模試は大手。かなりの受験生が受けています。この中で、自分がどれくらいの力を持っていて、どれくらいの位置にいるのかを見ると、学校の高3生の中だけで見るより、はるかに現実に近い様子が分かります。

受験はこれからです。

今の時点での実力は、まだ今の実力。現在続けている受験勉強次第です。
自分の力はこれから伸ばせる。しかし周りの受験生の力も力を伸ばしてくる。
気を抜かないように。そして粘り強く一生懸命取り組むように。

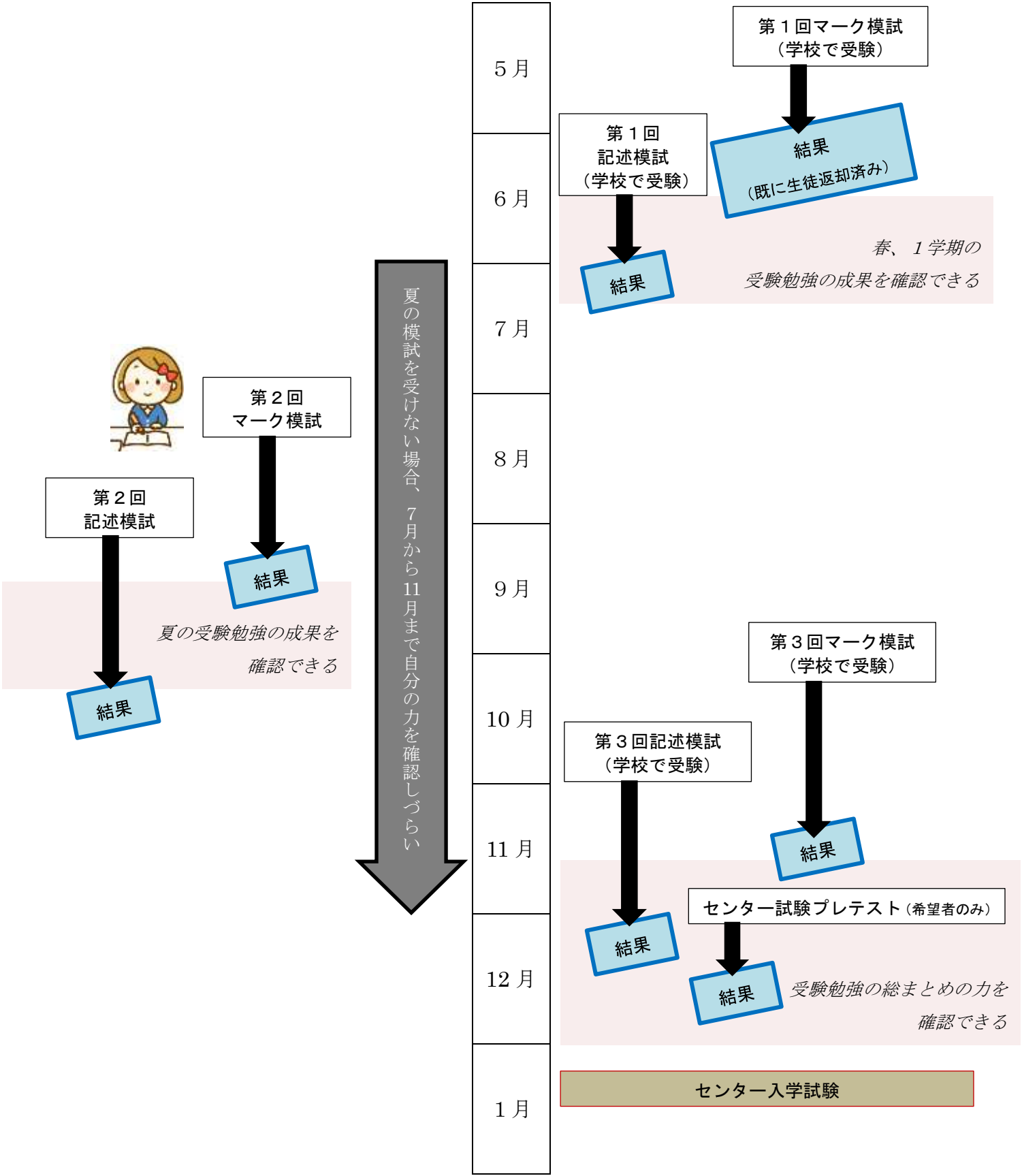
夏休み中の模試受験は、

滞在場所に合わせて、各自で申し込んで下さい。

難関大を目指す場合は、駿台予備校の模試が
難易度が高く、手堅く、良いとされています。

■夏休みの河合塾全統模試のスケジュール

8月第一週ごろ 河合塾 第2回全統マーク模試
8月最終週ごろ 河合塾 第2回全統記述模試



【河合塾 夏休みの模試の実施日】

都道府県や地区によって、具体的な日付が異なります。河合塾のホームページで確認して下さい。

(参考) 東京

◆全統模試年間スケジュール【高3生・高卒生対象】

受付 開始日	公開会場 実施日	模 試 名	モバイル アプリ コード	ドッキング 模試評価	成績資料 発送日	出題教科
4/1 (水)	5/3(日・祝)	第1回全統マーク模試	01	●	5/27(水)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	5/17(日)	第1回全統記述模試	05	●	6/23(火)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	8/ 2(日)	第2回全統マーク模試	02	● ●	9/ 4(金)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	8/30(日)	第2回全統記述模試	06	●	10/ 6(火)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
6/1 (月)	8/ 9(日)	第1回東北大入試オープン	42		9/17(木)	各オープンの出題科目・試験形式等については、すべて各大学の二次試験に準じます。
	8/15(土)・16(日)	第1回東大即応オープン	12		9/24(木)	
	8/ 9(日)	第1回名大入試オープン	18		9/24(木)	
	8/ 9(日)	第1回京大即応オープン	15	●	9/24(木)	
	10/ 4(日)	全統論文模試*	46		11/19(木)	—
	10/18(日)	第3回全統記述模試	07	● ●	11/25(水)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	10/25(日)	第3回全統マーク模試	03	● ●	11/19(木)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	11/15(日)	全統医進模試*	32	●	12/17(木)	英語・数学・理科・小論文
	11/3(火・祝)	北大入試オープン	41		12/15(火)	
	11/3(火・祝)	第2回東北大入試オープン	43		12/ 8(火)	
	11/7(土)・8(日)	第2回東大即応オープン	13		12/14(月)	
	11/ 1(日)	東工大入試オープン	21		12/10(木)	
9/1 (火)	11/ 1(日)	一橋大入試オープン	22		12/10(木)	
	11/15(日)	第2回名大入試オープン	19	●	12/17(木)	各オープンの出題科目・試験形式等については、すべて各大学の二次試験に準じます。
	11/3(火・祝)	第2回京大即応オープン	16		12/10(木)	
	11/15(日)	阪大即応オープン	24		12/16(水)	
	11/ 8(日)	神大入試オープン	25		12/17(木)	
	11/ 8(日)	広大入試オープン	26		12/14(月)	
	11/ 8(日)	九大入試オープン	27		12/17(木)	
	11/22(日)	早大・慶大オープン*	31		1/15(金)	
	11/29(日)	全統センター試験プレテスト	04	●	12/17(木)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民

*全統論文模試、全統医進模試、早大・慶大オープンをモバイルからお申し込みの際は、各模試のパンフレットを入手いただくか、パソコンで河合塾ホームページの全統模試案内をご覧ください。実施要項などの詳細をご確認ください。

(注) 会場によっては「実施日が異なる場合」や「実施しない場合」があります。

(参考) 大阪

◆全統模試年間スケジュール【高3生・高卒生対象】

受付 開始日	公開会場 実施日	模 試 名	モバイル アプリ コード	ドッキング 模試評価	成績資料 発送日	出題教科
4/1 (水)	5/3(日・祝)	第1回全統マーク模試	01	●	5/27(水)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	5/17(日)	第1回全統記述模試	05	●	6/23(火)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	8/ 9(日)	第2回全統マーク模試	02	● ●	9/ 4(金)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	9/ 6(日)	第2回全統記述模試	06	●	10/ 6(火)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
6/1 (月)	8/ 2(日)	第1回東北大入試オープン	42		9/17(木)	各オープンの出題科目・試験形式等については、すべて各大学の二次試験に準じます。
	8/1(土)・2(日)	第1回東大即応オープン	12		9/24(木)	
	8/ 2(日)	第1回名大入試オープン	18		9/24(木)	
	8/23(日)	第1回京大即応オープン	15	●	9/24(木)	
	10/ 4(日)	全統論文模試*	46		11/19(木)	—
	10/25(日)	第3回全統記述模試	07	● ●	11/25(水)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	10/18(日)	第3回全統マーク模試	03	● ●	11/19(木)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民
	11/ 8(日)	全統医進模試*	32	●	12/17(木)	英語・数学・理科・小論文
	11/ 8(日)	北大入試オープン	41		12/15(火)	
	11/ 8(日)	第2回東北大入試オープン	43		12/ 8(火)	
	11/7(土)・8(日)	第2回東大即応オープン	13		12/14(月)	
	11/3(火・祝)	東工大入試オープン	21		12/10(木)	
9/1 (火)	11/3(火・祝)	一橋大入試オープン	22		12/10(木)	
	11/15(日)	第2回名大入試オープン	19	●	12/17(木)	各オープンの出題科目・試験形式等については、すべて各大学の二次試験に準じます。
	11/3(火・祝)	第2回京大即応オープン	16		12/10(木)	
	11/15(日)	阪大即応オープン	24		12/16(水)	
	11/22(日)	神大入試オープン	25		12/17(木)	
	11/ 8(日)	広大入試オープン	26		12/14(月)	
	11/22(日)	九大入試オープン	27		12/17(木)	
	11/22(日)	早大・慶大オープン*	31		1/15(金)	
	11/29(日)	全統センター試験プレテスト	04	●	12/17(木)	英語・数学・国語・理科・地歴歴史公民

*全統論文模試、全統医進模試、早大・慶大オープンをモバイルからお申し込みの際は、各模試のパンフレットを入手いただくか、パソコンで河合塾ホームページの全統模試案内をご覧ください。実施要項などの詳細をご確認ください。

(注) 会場によっては「実施日が異なる場合」や「実施しない場合」があります。

2学期に学校で受験する模試は、河合塾の第3回マーク模試と記述模試です。

各大学別模擬試験、センター試験プレテストは、希望者に応じて受験が可能です(受験料は受験者負担)。希望者は申し出て下さい。

地方では、河合塾第2回全統記述模試が9月5～6日(土、日)に行われるので、帰寮日と重なって受けられない、という場合がある。記述模試は、夏休み総まとめの評価として、出来るだけ受けた方がよい。模試には実施期間というものがあり、学校で実施する時にはこの期間にあてはまるように行っている。もし帰寮日と重なってしまう場合には、河合塾に相談してみよう。実施期間に合わせて、融通をきかせて受けさせてくれるかもしれない。相談する時には「普段は学校で団体受験をしていること」を伝えると効果があるかもしれない。「文部科学省認定の在外教育施設で、日本人学校だ」とも試してみよう。もし特別に受けさせて貰える場合には、問題用紙は回収されてしまう。切手と自分の住所・宛名を書いた封筒を持参して、後日郵送してもらえるよう頼んでみよう。

【河合塾模擬試験の申し込みの際に注意すること】

	備考
受験型	<u>自分が志望する大学が指定している科目に合わせ、受験すること。</u> リスニングの有り無し、国語科目の現代文・古文・漢文の組み合わせなどに、よくよく注意すること。自分の好みだけで受験した場合には、志望大の判定が出ないことがある。
住所・連絡先など	<u>自宅の連絡先など、受験者自身に連絡がとれるものを入力。</u> 学校を連絡先にしないこと。学校に問い合わせがあっても、対応はできません。
学校コード	4 8 3 3 2
学校名	立教英国学院高校（＊在外教育施設）

【夏休みに模擬試験を受験したら】

模擬試験の結果が届いたら、コピーで構いませんので、クラス担任の先生に渡して下さい。受験指導の参考にします。

【7】指定校推薦について

昨年度、指定校推薦の連絡が届いた大学・学科の一覧です。指定校推薦の希望提出は1つまでとなる。進路について、夏休み中にご両親とよく相談しましょう。

立教大学を除き（本校は係属校であるため）、今年も同じように指定校推薦の募集があるとは限りません。今年はないかもしれない、今年もあるが出願条件が変わるかもしれない、という気持ちを持って参考にして下さい。

指定校推薦については、8ページと12ページをよく読むこと。

【2016年度入試 2015年7月3日現在連絡が届いているもの】

大学名	学部・学科	定員	出願期間	試験日	発表
立教女学院 短期大学	現代コミュニケーション学科 幼児教育科	各1名	1月12日～1月14日(着)	1月20日	1月21日
桃山学院大学	国際教養学部 英語・国際文化学科 社会学部 社会学科 社会学部 社会福祉学科 法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 経営学科	いずれか より1名	10月1日～10月20日	11月1日	11月10日
上智大学 短期大学部	英語科(女子のみ)	1名	11月2日 ～11月6日(消印有効)	11月14日	11月17日
立命館アジア 太平洋大学	アジア太平洋学部 国際経営学部	全3名	11月1日 ～11月11日(消印有効)		12月1日
東京理科大学	A類 工学部 電気工学科	1名	11月1日～11月6日(着)		11月24日

【昨年 2015 年度入試に指定校推薦枠があったが、今年はまだ連絡のないもの】

立教大学	各学部各学科	20 名			
南山大学	総合政策学部 総合政策学科	1 名	10 月 29 日～11 月 5 日(着)		11 月 28 日
千葉工業大学	全学部全学科	2 名	10 月 14 日 ～11 月 4 日(消印有効)	11 月 16 日	11 月 20 日
早稲田大学	基幹理工学部 学系 I	1 名	振込：10/27～11/7 書類：11 月 4 日～11 月 7 日(着)	11 月 22 日	12 月 5 日以降
聖心女子大学	文学部	2 名	～11 月 7 日 (着)	11 月 16 日	11 月 21 日
聖路加国際 大学	看護学部 看護学科	1 名	10 月 17 日～10 月 24 日	11 月 6 日	11 月 13 日
同志社大学	商学部 商学科	各 1 名	10 月 17 日 ～11 月 4 日(消印有効)	11 月 22 日	12 月 8 日
	理工学部インテリジ ェント情報工学科			11 月 15 日	12 月 2 日
関西学院大学	法学部 法律学科 経済学部 総合政策学部 国際学部 社会学部 教育学部 教育学科 初等教育	各 1 名	11 月 4 日 ～11 月 14 日(消印有効)	12 月 6 日	12 月 12 日

【8】受験の夏の勉強

夏休みは受験の天王山

- 極意 ① 夏休みは普段よりも時間がたっぷりある。8:45 に始まって 15:45 に終わる授業が一切ない。全て自分のための勉強に使える。力を十分に伸ばすのは夏休みだ。
- ② 時間がたっぷりあるのは、他の受験生も同じ。夏に頑張らない者は受験に負ける。

結論 『夏休みは受験の分かれ目』

①夏はとにかく基礎固め。応用力養成は秋から。 …が一般的

②基礎固めとは…

高1からの範囲をじっくり復習。範囲が広がっても、期末テストやマーク模試が70%程度得点できるような勉強を。模試の各科目の学力レベルがD以下の場合は基礎力養成が必須。



〈復習〉の基本はこの3つ

*科目によります





〈演習〉は、とにかく問題にあたって力のトレーニング

◆分からないものは、必ず問題にチェックマーク。

⇒解法を確認したら、もう一度何も見ずに解く。自分が本当に理解しているか、その場の確認。

⇒翌日もう一度解く、1週間後に解く、1ヵ月後に解く、など一定期の時間が経った後に繰り返し解く。時間が経っても理解が維持されているかの確認。



河合塾シリーズの、マーク式総合問題集

マーク式のセンター模試を集めて問題集にしたもの。これを解くと、センター模試を受けたとき、どれくらい得点できるかで実力の具合を試せる。得点を偏差値に換算すると、どれくらいになるかの対照表もあって便利。

ただし、出題範囲に注意。英語・国語は出題範囲がないようなものだが、他科目は模試の回によって出題範囲が存在するので注意。

駿台予備校、Z会なども刊行している。

2 学期に勉強準備の要るもの（応用力養成向け）



【国公立大志望者】

センター入試過去問題集



【全員】

志望大の過去問題集

最低でも第一志望大のものを。

③模試の科目別学力レベルの評価がS～Aの場合は、『得意科目』にどんどん育てる



難関大向けの問題集に取り組む

こういった独自の勉強法も工夫して実践しよう



ニュース記事を読んで、読解力を高める

語句、熟語調べ 文法確認
蛍光ペンや赤ペンなどで、要旨や接続詞などをマークして読み解き
要旨を3つ程度に絞ってまとめる

2学期に勉強準備の要るもの（応用力養成向け）



【全員】

二次試験（大学個別試験）にあわせた実力養成の問題集

